

社会学部紀要 総目次 (第23号～第40号)

執筆者名 (ABC順)	題 目	号	頁
〔論 文〕			
安 藤 文 四 郎	職業威信評定の画一性・安定性仮説に 関する一考察	39	77
	開放性係数・乖離指数・出(入)移動指数	40	173
青 山 秀 夫	カタ変数理論の発展 — Parsons 行為理論のための習作(1)—	33	43
	社会科学概論序説	36	3
大 道 安 次 郎	宝塚市の市格・格位・品格	23	11
藤 原 英 男	T. パーソンスの行為の分析の検討 — ユニットアクトのエレメント分析の見地から—	29	109
藤 原 恵	関西学院史に見る新聞教育 — 小山東助・河上丈太郎の先駆的役割—	29	3
船 本 弘 毅	理性と信仰についての一考察 — バルトとブルンナーの神学論争をめぐって—	25	51
	D. ボンヘッファーの『倫理学』の根本思想 (I)	31	79
	D. ボンヘッファーの『倫理学』の根本思想 (II)	32	49
	R. プルトマンにおける復活の理解	35	103
	D. ボンヘッファーの『倫理学』の根本思想 (III)	36	131
	D. ボンヘッファーの『倫理学』の根本思想 (IV)	40	623
半 田 一 吉	英訳聖書における動詞 SAY の時制	40	637
春 名 純 人	カントの道德神学 (I)	25	59
	カントの道德神学 (II)	26	115
	カントの道德神学 (III)	27	101
	カントの道德神学 (IV)	28	71

	道徳的完全性の理想 (I)	29	99
	道徳的完全性の理想 (II)	30	73
	道徳的完全性の理想 (III)	31	69
	近代神学の認識論的基礎に関する弁証学的考察	35	127
本 出 祐 之	……英国における社会福祉サービスと 教育に関するノート	40	409
井 上 文 夫	……ヴィーゼにおける集団論の一考察	27	57
	一村落の集団論的研究 [I]	28	45
	一村落の集団論的研究 (II)	29	137
	一村落の集団論的研究 (II) —その続—	30	83
春 日 雅 司	……支配構造より見たイスラム社会	36	165
	伝統的社会における家産官僚制とその分権化傾向 —インド・ムガル帝国の場合—	38	119
	伝統社会における国家権力の分権構造 —プリュンデ封建制とレーエン封建制の 性格をめぐって—	39	175
交 野 正 芳	……農民層の動向と村落	29	119
加 藤 春 恵 子	……言語コミュニケーション能力の発達をめぐって —ミード理論と現代日本社会—	38	77
	共存の時代 —現代日本社会のエートスをめぐって—	40	529
木 下 博 道	……疎外とアノミー	36	153
紺 田 千 登 史	……ベルクソン哲学の方法	25	71
	メルロー＝ポンティの知覚論 (I)	34	99
	メルロー＝ポンティの知覚論 (II)	36	141
小 関 藤 一 郎	……マレーシア最近の労働事情と労働組合の動き	23	1
	欧州における新しい労働者階級の問題 —英・仏における最近の研究を中心にして—	24	3

最近におけるデュルケーム研究について	26	11
1970年のフランスの労働組合	27	9
フランスにおける労働者の給料の月給化	28	37
デュルケームの道徳社会学について— I	29	65
技術の発展と人間 —フリードマンの社会学—	31	1
フランス社会とフランス社会学	32	1
デュルケームと教育理論 (I)	33	19
デュルケームと教育理論 (II)	34	13
デュルケームの宗教研究について	36	33
フランスの労使関係の特質	37	1
パーソンズのデュルケーム解釈について	38	35
フランスの新しい労働者階級の問題	39	1
デュルケームの初期著作における社会主義の問題	40	57
倉田和四生……工業化と大都市圏の発展 その1	23	51
逸脱行為と社会統制		
—暴力団の研究枠組—	24	67
都市コミュニティ論		
—コミュニティ計画の理念とそのディレンマ—	25	31
大都市の住民自治組織		
—ムラの要素の残存—	26	23
近隣住区理論の形成と発展		
—C. A. ベリーのコミュニティ計画の本質—	31	15
大都市の住民組織とコミュニティの構造		
—住民組織の近代性と伝統性—	32	11
大都市における財産区管理の実態 (その1)	34	1
公共施設の利用とコミュニティの構造	35	3
都市的生活様式の特徴	36	19

	大都市における財産区管理の実態（その2）	
	—神戸市の例—	37 23
	人口転換と高齢化社会の到来	39 13
	都心の過疎化とコミュニティの問題	
	—大阪市の場合—	40 183
西川美紀	……日本の結婚研究の問題	
	—結婚の型と村落の構造の関連—	39 195
真鍋一史	……政治意識とコミュニケーション	23 91
	日本人の世論観の研究	24 107
	新聞記者の職業意識	26 63
	政治的社会化の研究課題	27 41
	マス・コミュニケーションの調査	
	—新聞記事の内容分析—	28 15
	政党支持態度と政治的諸態度	
	—神戸市における政治意識調査から—	29 41
	広告をめぐる世論（I）その（1）	
	—広告に関する新聞投書の量的分析—	33 71
	広告をめぐる世論（I）その（2）	
	—広告に関する新聞投書の量的分析—	34 35
	現代における政治文化の交差国家研究	
	—日本・イスラエル・アメリカ（I）—	36 83
	現代における政治文化の交差国家研究	
	—日本・イスラエル・アメリカ（II）—	37 59
	日本人の対外イメージ	39 91
	事件と世論	40 495
萬成博	……日本の経営指導者の補充	29 57
	日本の工場組織モデルの再検討	38 51
松井茂樹	……職業意識と社会（上）	
	—我が国の職業分類に現われた職業観の変遷—	24 119

南 育 広	……小農民経営について	
	—農民階級分析のための予備的考察—	37 101
宮 田 満 雄	……Ernest Hemingway と家庭環境	
	—失地回復を求めて—	26 127
	Ernest Hemingway の自殺をめぐる	30 63
	1930年代における Ernest Hemingway	34 89
森 川 甫	……ヴァンデルのカルヴァン研究 —伝記篇—	35 111
	ジャン・ステッツェルの論文「社会科学、人文科学の 世界的貸借対照表は可能か」	39 139
	『厚生新篇』の原著者；ノエル・ショメルについて	40 611
村 山 冴 子	……学校ソーシャル・ワーク覚え書（I）	
	—アメリカにおける学校ソーシャル・ワーク—	40 431
中 野 秀 一 郎	……“Sociology of Professions” の諸問題（I）	
	—その体系的構想のための準備作業—	24 95
	“Sociology of Professions” の諸問題（II）	
	—その体系的構想のための準備作業—	25 77
	Professions における補充の問題	
	—医師の場合を中心にして—	26 39
	組織と Professions	
	—医師の場合を中心として—	27 27
	Professions に於ける政治的志向について	
	—若干の調査事例をふまえて—	28 1
	大学教授における政治的志向について	
	—A大学の調査事例を中心に—	29 77
	国家統合と国民意識	
	—調査事例報告を中心として—	30 47
	医療サービスの生産と分配	
	—医師サービスの場合—	31 27
	政治情報と政治的志向	35 33

	複合民族国家における政治	
	—人種, 宗教, そして政治—	36 71
	『地域開発, 政治, そして住民意識』	
	—岡山県倉敷市の場合—	39 67
	自然性, 文化性, 可視性	40 93
中山慶一郎	……選好の構造	26 99
	ゲームの表現形式について	29 91
	パラメータに制約のある回帰推定について	38 59
	消費単位尺度の推計	40 131
西尾 朗	……英国における中国の映像 (II)	
	—フランス・イエズス会と18世紀英文学—	23 43
	英国における中国の映像 (III)	
	—Sir William Chambers と彼の英華式庭園—	25 23
小原二三夫	……ヒンドゥー化について	
	—ヒンドゥイズムの形成拡大の論理と事例—	39 209
奥田いさよ	……精神分裂病家族研究の再考察	
	—そのI: 病理発生的家族特性について—	32 81
奥田 憲 昭	……近隣コミュニティの検討	
	—概念構成を中心として—	30 97
領 家 穰	……社会的時間論 (3)	
	—制度的時間再考—	24 59
定平元四良	……志賀重昂 一人と思想	24 33
	山路愛山研究 (I)	33 33
	山路愛山研究 (II)	34 25
	陸 羯南の宗教論	37 11
	森 有禮の宗教論	40 589
佐々木 薫	……規範形式に及ぼす制裁の効果に関する調査研究	
	—カンニング事件による自然実験—	23 79
	集団目標の形成と達成	37 71

芝田正夫	19世紀イギリスにおける大衆読者層の形成	40	571
嶋田津矢子	離婚率の上昇と結婚カウンセリング方法の進展	24	39
	スウェーデンにおける婦人運動	26	105
	ソ連における家族問題		
	—家族消滅論と家族強化論—	27	89
	進展する高齢者福祉	30	13
	前進する婦人解放運動		
	—国際婦人年に学ぶもの—	32	25
	激変する社会と社会事業教育		
	—サンファン国際会議の示唆するもの—	34	67
	変化する社会と結婚の形態		
	—米国における Group Marriage と Communal の研究—	35	83
	社会的老年学への道		
	—「長寿国」日本の課題—	38	89
	男女平等と婦人運動		
	—国内行動計画の問題点—	40	471
清水盛光	パーソンズにおける「集合体」の概念		
	—その概念の多義性について—	26	3
清水由文	日本の親族組織の一考察		
	—京都府綾部市黒谷の場合—	32	57
杉原方	Bellak の精神分裂病の概念 (その2)	24	15
	Bellak の精神分裂病の概念 (その3)	25	1
	Bellak の精神分裂病の概念 (その4)	27	79
	Bellak の精神分裂病の概念 (その5)	30	3
	Bellak の精神分裂病の概念 (その6)	31	45
	Bellak の精神分裂病の概念 (その7)	33	97
	Bellak の精神分裂病の概念 (その8)	35	71
	Koro について	40	371

杉山 貞夫	……Human Factors Research における 生態学的考慮の必要性	……25	43
	基本色名のもつ概念にみられる性差・世代差 および民族差に関する研究	……40	353
田 淵 創	……親の養育態度に影響を及ぼす要因の検討	……27	67
高 田 真 治	……社会福祉計画論序説	……25	91
	社会福祉計画論序説〔II〕	……28	59
	社会福祉計画論序説〔III〕 —社会福祉計画と福祉指標—	……30	35
	社会福祉計画論序説〔IV〕 —対象構成：ソーシャル・ワークと 一般システム理論—	……31	57
	社会福祉計画論序説〔V〕 —援助機能：適応と変革—	……32	37
	社会福祉計画論序説〔VI〕 —福祉工学と社会福祉政策—	……33	107
	社会福祉計画論序説〔VII〕 —ソーシャル・ウェルフェア・アドミニストレーション—	……34	77
	社会福祉計画論序説〔VIII〕 —ソーシャル・ワークの実践—	……35	93
	社会福祉計画論序説〔IX〕 —「方法論統合化」の課題—	……36	119
	社会福祉計画論序説〔X〕 —社会福祉資源としてのマンパワー—	……37	79
	社会福祉計画論序説〔XI〕 —結・「序説」の残された課題—	……38	101
	これからの社会福祉政策の課題 —積極的な「福祉見直し論」—	……40	451
武 田 建	……行動療法の初回面接	……30	25
	行動療法：その技法以外の諸問題	……40	391

竹 安 栄 子	近代化と家族	
	—イギリス産業革命期における家族の 変質過程を事例として—	35 151
	西欧封建制期における農民家族についての一考察	
	—西南ドイツを中心として—	38 109
田 中 国 夫	態度構造と変容 (II)	
	—貫性理論と総和理論に関する概観—	23 27
	社会的態度の因子的構造に関する研究	
	—bipolar か dualistic か—	26 55
	教育に関する市民意識 (I)	
	—神戸市の場合—	40 231
津 金 沢 聡 広	マス・メディアと「地方文化」	29 17
海 野 道 郎	分結指数の検討	
	—方法論的考察—	35 49
	差別の概念と測定	36 97
	分結指数の検討	
	—方法論的考察, その2—	39 131
	<成り済まし>の理論	
	—フォーマル・セオリーをめざして—	40 141
山 路 勝 彦	台湾漢人の男系出自と母方オジの問題	31 39
	『春秋左氏伝』と縁組, 権威および覇権主義	39 111
山 本 剛 郎	わが国の人口移動の動向	36 109
山 本 武 利	戦前の新聞読者層調査	29 27
	明治期の新聞投書	33 61
柳 原 佳 子	制裁の外在性	
	—Durkheim と Labeling theory —	37 111
	主観的現実と客観的現実	
	—「現象学的社会学」の世界—	39 183
安 田 三 郎	ウェーバー行為論の解釈と批判	
	『社会学の根本概念』コメンタール I	40 111

余田博通	「村」と「むら」	40	85
倉田和四生 井上薫	大都市の近隣関係	33	1
倉田和四生 中山慶一郎	地方都市の近隣関係	39	51
倉田和四生 中山剛一郎	—倉敷市の場合—		
遠藤忽正 牧正英	地方官庁における変動過程に関する 調査研究(II)	24	83
牧正英 西山美瑛 遠藤忽正	歯科医師の行動様式 —実証研究のためのパイロット・スタディー—	39	29
牧正英 遠藤忽正 西山美瑛	データ分析による歯科医師研究への一試論	40	305
萬成博 石井徹	オートメーション工場における労働組織	24	49
萬成博 Robert M. Marsh	日本の工場における賃金の社会学的分析	27	1
萬成博 Robert M. Marsh	技術と組織構造 —日本における4つの工場の比較分析—	35	21
萬成博 Robert M. Marsh	技術と組織構造の研究計画	36	47
萬成博 ジロラモ・アバーテ	日本の産業組織についての研究モデルの 検討と新しいアプローチ	39	161
領家穰 元濱涼一郎	ガルブレイスの社会理論 —経済学的前提にあるものの知識社会学的考察—	27	21
佐々木真 山口真	訓練キャンプの集団力学的研究	23	101
佐々木真 山口真	訓練キャンプの集団力学的研究(II)	26	87
佐々木真 山口真	某製鉄所従業員意識調査 —単純集計結果—	29	151

杉山貞夫	Multiple Time Zone Travel にともなう	
水野高一郎	運航乗務員の生理心理的変動について (I)	39 149
滝川佳孝		
栗原和子		
長野英磨	(日本航空)	

日本航空人間工学研究チーム (日本航空)

田中国夫	視覚空間の心理的意味に関する研究	
田淵創	—万国博ホスト・ホステスと我が国 学生青年との比較を中心にして—	24 25
田中国夫	旅行による「国家に対する態度」の変容について	
虎中俊彦	—東南アジア寄港を中心とする 兵庫県青年洋上大学の場合—	25 11
小林昭司		
田中国夫	幼児のあそびの発達	
田淵創	—異年齢集団における自由あそびの観察—	35 61
田中国夫	性役割態度と対人魅力	35 141
田中徹		
田中国夫	社会的態度の構造的研究	
岩中千明	—態度構造研究の概観—	37 89
海野道郎	偏見の内部構造	33 87
海鏡豊		
海野道郎	偏見の因果構造	34 51
海鏡豊		
海野道郎	<正当化>のメカニズム	
大山三枝	—理論構築のための予備的事例 (分析) —	37 47
山本努		
海野道郎	マイノリティーの類型化	
海鏡豊	—その基準に関する一考察—	38 65
山本剛郎	大和高原山村の「与力」制度	
山上勝也	—アンケート調査研究にもとづく覚書—	
山本剛郎	大和高原における村落生活	40 267
山上勝也		

〔資料〕

川田誉音	フランスのソーシャル・ワークにおける <animation>の概念	32 91
------	--------------------------------------	-------

元 濱 涼 一 郎……知の取り扱いについて —中井正一覚書— ……………	32 99
山 路 勝 彦……エドワード・ノーベック氏と高島の再調査 〔社会学部研究会シンポジウム報告要旨〕	31 87
小 関 藤 一 郎……フランスの大学の問題 ……………	25 103
バランディエ (G. Balandier) 教授の談話 「自分の研究をふりかえり見て」 ……………	36 179
余 田 博 通……大学の理念 —関西学院大学における改革の理念としての 「協同社会」(第三社会)論— ……………	24 139
山 中 良 和……大学の理念 ……………	23 115
〔書 評〕	
木 下 博 道……Gianfranco Poggi, <i>Images of Society : Essays on the Sociological Theories of Tocqueville, Marx, and Durkheim</i> (Stanford, Stanford University Press, 1972) 第3部 “Emile Durkheim” ……………	34 111
〔講 演〕	
ジョルジュ・フリードマン……マス・コミュニケーションの社会学 ……	24 149
新 明 正 道……日本社会学の展開 ……………	40 13
T. パーソンス……現代社会における大学の諸問題 ……………	40 1
倉田和四生編集	
T. パーソンス……現代社会学の展開 中野 秀一郎訳 ……………	38 9
—回顧と展望— ……………	38 9
(1)現代社会の危機について ……………	38 20
(2)現代社会と宗教 ……………	38 27
富 永 健 一……日本の社会階層 ……………	40 37
〔年譜・著作目録〕	
大 道 安 次 郎 ……………	24 155
清 水 盛 光 ……………	26 137

藤原 恵	29 171
岡村重夫	30 107
山中良知	35 巻頭
青山秀夫	36 183
タルコット・パーソンズ	38 2
小関藤一郎	39 219

[発行年月日]

第23号	昭和46年11月30日
第24号	昭和47年3月25日
第25号	昭和47年12月15日
第26号	昭和48年3月15日
第27号	昭和48年12月15日
第28号	昭和49年3月20日
第29号	昭和49年12月10日
第30号	昭和50年2月25日
第31号	昭和50年12月15日
第32号	昭和51年3月15日
第33号	昭和51年12月1日
第34号	昭和52年1月25日
第35号	昭和52年12月27日
第36号	昭和53年3月27日
第37号	昭和53年12月20日
第38号	昭和54年2月25日
第39号	昭和54年12月20日
第40号	昭和55年3月20日